



## FIWA®代表理事リレー投稿 「アテンション・プリーズ」

### —生活者が金融サービスを利用して投資をする際に注意すべきこと—



寄稿：FIWA®協会  
副理事長 原田 武嗣

人生 100 年時代と言われる今日、生活者が人生を通じてのお金との付き合い方の知識をしっかり持ち、自ら長期の資産形成を実践していくことが強く求められています。

人生を通じてのさまざまなリスクをヘッジしてくれる社会保険制度や社会保障制度などのセーフティーネットもありますが、多くの人にとってそれだけでは十分ではなく、将来の自分は今の自分が支える時代が来ています。このような時代状況の中で、多くの人が将来のことを考えて投資を試みようと考え始めています。しかし、投資を投機と混同して、「危ないもの」と思い込んで、なかなか一歩を踏み出せない人がいる一方、一歩踏み出したけれど、自分の知識・経験・財産の状況に適合しない金融商品に投資してしまったり、短期的収益を追求しすぎて、過度のリスクをとってしまったり、間違った方向に向かってしまう人もいます。

生活者は自分の大切なお金を投資するのですから、「投資家としての権利」を強く意識することが肝要です。そして、金融機関の営業マンや金融アドバイザーなど金融サービス提供者に対して、投資を始める前に「適切な質問」をしなければなりません。常に不確実性を伴う投資の世界では、金融サービス提供者について信頼の絆が保てること、自分が納得できない、理解できない投資はしないことを徹底することが必要だからです。

そこで、今回は、「生活者が金融サービスを利用して投資をする際に注意すべきこと」を、グローバルな投資専門家の職業団体、CFA 協会が策定した「投資家権利に関する声明」(注 1)を参考に考えてみましょう。





## FIWA®通信「インベストラ이프」

本声明では、投資家の権利について、以下の定義をしています。

金融専門家および金融機関のサービスを受ける際に、投資家は以下の事項に対する権利を有します

1. 誠実で、有能で、かつ関連法に従った倫理的行為
2. 正しい情報に基づく分析および慎重な判断、勤勉な努力に基づく独立した客観的な助言およびサービス
3. 専門家や組織の利益より投資家利益の優先
4. 他の顧客との間での公正な取扱い
5. 商品やサービスを提供するときに存在する、あるいは潜在的な利益相反の開示
6. 顧客状況を理解した上で提供される、投資家の目的や制約に相応しい助言
7. 平易な言葉を使用し、効果的に情報を伝える形式で提示される、明確かつ正確、完全かつ迅速なコミュニケーション
8. 賦課されるすべての手数料、コストの説明と、これらの費用が公正かつ合理的であることを示す情報開示
9. 個人情報の秘匿
10. 投資家のために提供されたサービスの適切かつ完全な記録

CFA 協会は”REALIZE YOUR RIGHTS”（あなたが持っている権利について知ろう）(注 2)という出版物の中で、上記 10 の投資家権利に対応する形で、「質問」例を説明しています。そのすべてをここで説明することは、迂遠となります。そこで、その趣旨を汲み取り、アドバイザーなど金融専門家や金融機関のサービスを利用する場合の「質問」の例を作ってみました。

1. (金融サービス/アドバイス提供にあたり) 遵守している「倫理規範および職業行動基準」がありますか？そのコピーを頂けますか？
2. 特定の金融・投資商品を推奨/アドバイスする場合、その根拠は何ですか？
3. あなた(または勤務先金融機関)は「フィデューシャリー・デューティ宣言」(注 3)を金融庁に提出し、公表していますか？その内容はどのようなものですか？
4. 私が他の顧客と公平な扱いを受けていることを確認できますか？特に、(金融)危機に際して、どのようにして十分なサポートと顧客サービスが受けられますか？
5. 利益相反の可能性を開示していますか？どのように利益相反を回避していますか？
6. 私の財務上のニーズと目標をどう理解して推奨/アドバイスしていますか？私の財務上のニーズと目標を実現するためのフィナンシャル・プランを書面で頂けますか？
7. コミュニケーションはどのような頻度でどのように(電話・メール・対面など)行われますか？書面による報告のサンプルを頂けますか？



## FIWA®通信「インベストラ이프」

8. 私が負担するすべての手数料など報酬の決め方とその内容(総額、内訳、率など)を予め説明してください。報酬徴収にあたり利益相反はありませんか？
9. 顧客情報についてのプライバシーポリシーはどのようになっていますか？情報の紛失や盗難にあったことはありますか？その場合、どのように解決しましたか？
10. アドバイス記録はどのくらいの期間、保管されるのでしょうか？また、いつでも請求することができますか？

このような質問は質問する側と受け手の双方に緊張感を生みます。生活者がアドバイザーなど金融専門家や金融機関のサービスを利用する際に、投資家としての権利を上記のような詳細な質問でチェックすることには心理的な抵抗があるでしょう。しかし、大切なお金を投資することをしっかり意識して、勇気をもって「適切な質問」を発してみましよう。

質問の受け手の金融アドバイザーは、FIWA®倫理規範および職業行為基準(注4)を遵守することで、CFA協会の「投資家権利に関する声明」で提示された投資家権利に的確に対応することが可能です。FIWA®認定アドバイザーの仲間の輪がますます広がることを期待します。

(注)

(1) CFA協会「投資家権利に関する声明」は、金融サービス商品の購入者に対し、金融サービス提供者に求めるべき行動規範を明らかにするものです。これらの権利は、いかなる専門家との関係においても信用・信頼の醸成に不可欠な基本的倫理原則を反映しています。これらは、投資運用、調査助言、銀行サービス、保険、不動産などの金融商品およびサービスに適用されます。投資計画の策定、証券会社との取引、銀行口座の開設、あるいは住宅の購入等の際、投資家の権利に関する声明は、投資家が必要とする情報を入手し、期待できる当然のサービスを受けるのに役立つツールです。金融プロフェSSIONALがこれらの権利に従うことを要求することにより、取引の相手方となる個人や金融機関との信頼を築く助けとなり、ひいては金融業界への信頼と尊敬、その誠実さを取り戻すことに繋がります。[https://www.cfainstitute.org/-](https://www.cfainstitute.org/-/media/documents/support/future-finance/investor-rights/translations/statement-of-investor-rights-japanese.ashx)

[/media/documents/support/future-finance/investor-rights/translations/statement-of-investor-rights-japanese.ashx](https://www.cfainstitute.org/-/media/documents/support/future-finance/investor-rights/translations/statement-of-investor-rights-japanese.ashx)

(2) CFA Institute "REALIZE YOUR RIGHT" <https://www.cfainstitute.org/-/media/documents/support/future-finance/realize-your-rights-guide.ashx>

(3) 金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」

<https://www.fsa.go.jp/news/r2/singi/20210115-1/02.pdf> 金融事業者により「フィデューシャリー・デューティ宣言」として公表され、金融庁に提出されている。

(4) FIWA®倫理規範および職業行為基準 [https://fiwa.or.jp/wp-content/uploads/pdf/rinri\\_kihan.pdf](https://fiwa.or.jp/wp-content/uploads/pdf/rinri_kihan.pdf)